

カモメの通信簿

松崎市長の汚職疑惑の発覚

今から13年前(2001年11月)、千葉県八千代市長の汚職事件から松崎市長の汚職疑惑が発生した。市の出入り業者である廃棄物処理施設管理会社「泰成エンジニアリング」から、夫人の社長名義の「オフィスマツザキ」に3千万の資金提供があったことが発覚したことです。(裏面の新聞記事Aを参照)

その疑惑について市長が十分な説明を拒んだので、その直後の市議会において再度わたって辞職勧告決議案が上程された。いずれも可決されませんが、法的拘束力のある不信任決議案は、何と1票差で否決されました。

刑事事件としても捜査の手が伸びましたが、明確な物的証拠がないとの理由で起訴を免れました。しかし、疑惑は晴れたわけではなく、市議会に設けられた百条委員会の喚問に対して、夫人は出席して事実を明らかにすることよりも、「夫の政治生命に危険が及ぶ」として罰金刑(地方自治法違反で10万円)を選び、出席しませんでした。(裏面の新聞記事B・Cを参照)

この間、再度、市議会において不信任決議案が上程されましたが、いずれも採択されませんでした。

そこで私たちは、2006年10月、松崎市長の3選を許すことは政治のモラルに反することであり、同時に「何をやってもしなければならないんだ」という風潮を公認することでもあり、そのことによつて

未来の世代に対してもよくない影響を及ぼすのではないかと考え、「X疑惑市長にノーを」と題するビラ5万枚を製作し、市内各戸に配布するとともに、駅頭などでも訴えました。

しかし、クリンな市政を掲げて3人(折本ひとみ・丹下剛・西山幸男の3氏)が立候補したため、票が割れてしまい、疑惑市長の3選を許す結果となりました。

とはいうものの、松崎候補は投票者の3割しか獲得できず、7割がクリン派候補に集まり、民意は明らかに疑惑市長にノーでした。

そして、新聞各紙も、松崎市長に対して3期目の課題として、まず汚職疑惑について説明責任を果たすことを求めました。(裏面の新聞記事Dを参照)

この後も松崎市長は、疑惑について説明責任を果たさず、2010年10月、4たび市長選に立候補しました。

とここで、それ以前、2007年4月に行われた県議選と市議選では、私たちは前者では「疑惑加担・容認候補」1人、後者では2人、しかもさらにも2名を最下位当選に追い込むことができました。

また同年11月、現庁舎の老朽化やバリアフリーへの対応などを理由として「新庁舎建設基本計画案」が発表された際には、私たちは、なお使用に耐える現庁舎を壊し、140億もの巨費を

「新庁舎建設の是非を問う討論会」を開くとともに、その結果を受けて、計画の白紙撤回を求めて署名運動を展開し、年末まで3000余筆の署名を市当局に届けました。

新庁舎建設の一時中止

2009年1月、松崎市長は突如、「経済情勢の悪化」を理由に計画の一時中止を発表しました。

2010年10月の市長選は4人の立候補者によって争われましたが、事実上、疑惑市長と折本ひとみ候補の一騎打ちとなりました。

結果は、折本候補へ5000票の差をつけての疑惑市長の4選の実現でした。「折本候補が当選すれば、近隣自治体と合併し、豊かな浦安がなくなる」などとする疑惑陣営側のネガティブキャンペーンが奏功したものと全国紙の一つは分析しています。

松崎市長は4回目の当選を果たすと、早速、3・11を奇貨として防災拠点の確立を主な理由として、地上11階地下2階の新庁舎の建設計画の再開を発表し、現在、実施設計も同じ会社に付託するという常識に反した仕方で、その建設が始まっています。

もちろん、私たちは、50年後の浦安の未来(高齢化社会

の到来と通信技術の発展など)を考えると、130億もの巨費を投入して新庁舎を建設することに反対で、要請書を2度にわたって出しました。だが、問答無用の返答しか受け取ることができませんでした。

政治にモラルがないと

疑惑市政を3度も許したことは浦安市民の恥ですが、それは恥だけに終わらず、市政にさまざまな弊害をもたらしています。(裏面の市政ブラツクカレンダーを参照)

一つは市の発注事業の落札状況の不透明ぶりです。ある会社の落札率が9割を越えたり、しばしば情報漏れが起きている。

二つは補助金の公平さを欠く特定の団体への援助です。市長派の議員を送り出している某社会福祉法人には、毎年4000万円の補助金が支出されていますが、2010年春には、「内部留保」つまり余剰金が1億円もあることが市議会でも問題となりました。

それだけではなく、2010年の市長選挙では同法人の理事だった議員が疑惑市長の後援団体の責任者となり、前述のネガティブキャンペーンを展開。投票前後、新町地域では運動員が戸別訪問して同様の趣旨を伝えるということも起きました。

また、同法人の問題点を議会ですり上げた女性議員は、逆に同法人から名誉毀損を受けたとして起訴され、係争中でした。

三つは社会的弱者への冷酷な仕打ちです。2003年、市内の某小学校で教師による知的障害者に対する性的虐待事件が起き、さまざまな曲折のち、2010年3月、東京高裁で事実が認定され、市に対して賠償命令が出されました。

逆にならぬと賠償命令が出ました。しかし、市長は賠償金は支払ったものの、この事件について被害者に対して謝罪もせず、どうしてこのような人権侵害が起きたのか検証もせず、対策の指示も出しませんでした。

四つは市長派議員による政務調査費の濫用です。私たちは2010年、その使い方に疑問を感じ、2008年度の政務調査費について監査請求を行ない、次いで千葉地裁に告訴しました。疑問の内容は、同派の議員が揃って夏は北海道、冬は鹿児島に調査旅行に出たのは会派の慰安旅行ではないか、ということでした。

また、のちに返されましたが、それらの議員によって、こんな本が買われていました。

「親子でつくり遊ぶおりがよみ」
「頭がよくなるおりがよみあそび」
「ジュージューお料理フライパン」
●DVD「シャレード(ヘンリー主演)」
●DVD「パズル」
それ以前には、パソコンやデジタルカメラを2年連続で購入する議員もありました。

五つは浦安市民の「憩いの場」だったスワンベーカーリーの閉鎖です。新浦安駅構内にあった、障害者も働ける同店は、飾らない、庶民的なたたずまいで浦安市民の「憩いの場」だったのだと、突如、その閉鎖が告知されると、その継続を願う6000余筆の署名が集まりました。しかし、市民の願いも空しく、同店のあ食堂になってしまいました。

六つは付近住民の反対を押し切った高洲モニュメントの建設です。2011年3月11日の大地震で高洲中央公園内の大型貯水槽が破壊され、マンホールが2メートルも突き出ました。この貯水槽は1万人余の市民に1日3リットルの飲料水を供給できるもので、震度6に耐えられる設計でしたが、震度5で使用する設計になりました。3500余の署名にもかかわらず、どうして震度5に耐えられなかったのか、についての検証も行われませんでした。モニュメントの建設は強行されました。

七つは元町住民の反対を押し切ったダイエーへの有地の提供です。ダイエーが今回、借り出した、北栄3丁目にある同市有地はもと、京葉線のなかった時代、ドイツニerland行のバス発着所があったところで、同線の開通後、市が浦安駅の開発や整備のためにオリエンタルランドから買い取ったもので、元町地区の商店街にとって大型店の進出は死活の問題であるばかりではなく、元町地区には新町地区と違って、平時には住民が心身を遊ばせ、災害時には避難できる大きな公園が一つありません。

そのような理由から元町の住民は、ダイエーの出店に反対し、市議会にも働きかけ、賛同を得ましたが、市当局もダイエーも耳を貸さず、昨年

から今年3月1日の開店を目指して工事が始まりました。ところが、その3月、意外なことから、同所の土壌が基準値の19倍も越える有害物質「六価クロム」で汚染されている事実が発覚しました。しかし、市当局は「それは、昨年夏の土壌検査で知っていたにもかかわらず」、「市民が動揺するといけない」という理由で隠していたというのです。正常な自治体では考えられないことです。市民の健康や財産にとつての危険は、いち早く市民に知らせ、ともに対策を立てるということが、市長の務めではないでしょうか。(裏面の新聞記事Eを参照)

政治にモラルがないということは、単にそれだけでは終わりません。以上のように、それらは私たち市民に、確実にさまざまな弊害やゆがみをもたらします。

一般に首長の多選は弊害をもたらすと言われています。実際、清潔な首長すら、それから免れるのは稀です。ましてや疑惑市長においては、あれから10年、十分な時間があつた苦難に説明責任を果たさず、頼りです。

この市長の5選を許すことは浦安市民の恥です。こんなことこそ落選させましょう。私たちは、クリンで緑を期待しています。

2014年10月8日

富山洋子
市民勝手連
共同代表
(消費者団体元代表)
西田勝
(法政大学定年教員)

クリンな市政を！
市民勝手連

浦安市長の5選は恥です！

疑惑市長の5選は浦安市民の恥です！



浦安市長が政治資金報告訂正へ

八千代市汚職飛び火、

『泰成』から資金提供 新たに雑収入記載

八千代市のごみ焼却施設をめぐる汚職事件に関連して、浦安市の松崎秀樹市長(59)は二十九日、市役所で会見し、贈賄側の廃棄物処理施設管理会社「泰成エンジニアリング」からの資金提供を認め、一九九九年の政治資金収支報告書を訂正し、新たに雑収入千二百万円を記載する予定であることを明らかにした。

会見で松崎市長は、「この契約に絡む所得、書に記載するものとした収入の一部を自分の生活費に充てていたことも認めた。

松崎市長は「市長選に落選した九七年八月以降、妻の会社「オフィス・納税額は延滞金などを合せて五百二十万円。個人所得として修正申告していたことから、雑収入に契約を解除した」と説明した。



浦安市の松崎秀樹市長(59)が、地方自治法の違反の罪で罰金刑を受けた際、白紙封印した地検の供述調書について、松崎市長が市議会調査特別委員会(百条委)で「検察官の作文に押印したもので事実と違っていた」と証言していたことが分かった。十五日の市議会本議で真意を問われた。

浦安市長 「妻、検事の作文に押印」 百条委証言 本会議では説明拒む

市長は「市の一般事務で「はな」と説明を拒んだ。」と説明を拒んだ。松崎市長の「作文」証言は11月10日の百条委。市長が妻の会社を通じて市委託業者から約3千万円の資金提供を受けたとされる疑念を解明するために設置された。

松崎市長の妻は03年3月の百条委に証人出頭しなかったとして今年3月に千葉簡裁で罰金10万円の略式命令を受けた。11月の百条委で明らかになった妻の供述調書には「出頭拒否しなかつた」とある。市長は「妻の問題はプライベートで個人として出頭した。危険が及ぶと考えると、たまたま書かれていた。」と回答を拒んだ。

浦安市政ブラックカレンダー

- 2002年11月 松崎市長が政治資金提供報告を訂正。➡
- 2003年2月 県警、賄賂容疑で本格捜査を開始。
- 同年同月 松崎市長が賄賂容疑業者をTDL関連ビル管理に紹介したことが発覚。
- 同年3月 市議会百条委員会が同市長を喚問。しかし、核心に触れず、夫人も出頭拒否。そのため、同委員会は夫人を刑事告発。
- 同年同月 市議会は賛成多数で市長辞職勧告決議案を可決。
- 同年6月 市長不信任決議案が1票差で否決される。
- 同年 高洲小で担任教員による障害児童への性的虐待が発覚。
- 2004年6月 市立小中の校庭工事で入札を避けるため、発注を分割するという事件も発覚。
- 2006年9月 浦安市では00～04年度で落札率100%が64件、談合が疑われる。
- 同年12月 市議が市女性職員にセクハラしたとして辞職。
- 2007年10月 市が新浦安・舞浜両駅で、警備会社に依頼して市民の街頭活動を監視。
- 同年12月 市民向けの保養所、蓼科山荘の浴槽でレジオネラ菌が検出されるも、予約客に不安をあたえるとして公表を控えたことが発覚。
- 2008年1月 市の備品購入指名競争入札で、2度情報が流れて再入札したことが判明。
- 2008年3月 市職員が教育研究センターのパソコンリースの指名競争入札に絡んで予定価格を業者に漏らし、官製談合防止法違反容疑で逮捕される。
- 同年9月 TDLでの成人式は税金のムダ使いとの声。経費1人6,720円、大阪は560円。
- 2009年9月 再び市は市立小の備品購入に際して入札を行わず、業者に分割購入させた。
- 2010年10月 市が04年度、「人件費などのコスト削減」を目的に県内初めて導入した電子入札システムの経費が1件当たり約324万円(県は15万円)かかることが分かり、取りやめ。
- 2012年6月 市長派議長が議長権限で、福祉法人への県の監査の有無を尋ねた女性議員の質問を打ち切る。
- 同年12月 市議会は高洲中央公園の災害モニュメントの建設中止を求める市民の請願を不採択とした。

問い合わせ先
713-4543 (岡野)
381-4595 (谷本)
352-1935 (富山)

「うそ」の説明 高まる批判

浦安市の松崎市長(59)が、妻社長を務める有限会社オフィスマツサキに、市の委託業者から約3千万円を支払われたと認めたため、改めて批判が相次いだ。昨年11月の定期総会では「修正申告した収入について、泰成エン지니어リングは関係ない」と主張していたにもかかわらず、一転して「事業の対価として支払った」と説明を変えたため、市議からは「疑念を解明せよ」との声が出ている。

松崎市長は、八千代市の 県議の同市長選出馬を支援したと認め、妻の会社から約3千万円を支払ったと認めた。市長は「疑念を解明せよ」との声が出ている。



松崎市長の妻は03年3月の百条委に証人出頭しなかったとして今年3月に千葉簡裁で罰金10万円の略式命令を受けた。11月の百条委で明らかになった妻の供述調書には「出頭拒否しなかつた」とある。市長は「妻の問題はプライベートで個人として出頭した。危険が及ぶと考えると、たまたま書かれていた。」と回答を拒んだ。

泰成エン지니어リングからの収入とする、松崎市長の主な発給金は次の通り。02年11月26日の記者会見、有限会社オフィスマツサキは、泰成エン지니어リングから契約に基づき金額を支払い、市長選前日に切った。

同日の定期総会、平成17年(03年)の雑収入に修正申告した千200万円は、泰成エン지니어リングとは関係ない。

「300平方メートル以上掘削など届けず」 ダイエーを告発 土壌問題、浦安の住民ら

浦安市北栄3丁目の市有地にダイエーが建設していた店舗をめぐり、地元住民らから18日、ダイエーの村井正平社長と同社、土壌汚染対策法違反の疑いで千葉地検に刑事告発した。一定規模(3千平方メートル以上)の土地の掘削などをする際に義務づけられている県への届け出を、故意になかったと訴えている。

ダイエーは昨年6月、市と市有地の賃貸借契約を締結し、同年7月から建設工事を始めた。市議会は、ダイエーは昨年6月、市と市有地の賃貸借契約を締結し、同年7月から建設工事を始めた。市議会は、ダイエーは昨年6月、市と市有地の賃貸借契約を締結し、同年7月から建設工事を始めた。

松崎氏の個人演説会で麻生太郎外相は「選挙は四年一度の定期健診」と話した。定期健診で市民は現職の市政運営に一応の及第点を与えたようだ。

財政力の豊かさを示す財政力指数は上昇を続ける。二十二年間、国から地方交付税の配分を受けない不交付団体だ。国内随一の集客力を誇る東京ディズニーランド・シーなどが豊かな財

まず説明責任を

政を支える。しかし、今後高齢化の波は間違いなく押し寄せ、高所得者も年金受給者となる。財源縮小、高齢への備えと合わせ、団塊の世代が一斉に定年を迎える二〇〇七年問題への対応は緊急課題だ。

第三ステージに入った市町村合併では千葉市に続く政令指定都市の誕生が期待されている。市川、船橋、松戸の三市を核とした政令市で分断されれば、人口十万人にすぎない市の在り方も問われる。

松崎氏は市の公共事業受託業者からの資金提供問題で〇三年六月と九月、政治資金収支報告書の虚偽記載問題で〇四年五月に市議会で不信任決議案を突き付けられた。議会との対決をおろそかに繰り返すよりも、市民に対する説明責任を十分に果たしてきたか、もう一度、熟考すべきだろう。(林史史)